

令和2年度 第1回西区地域公共交通検討会議 会議概要	
開催日時	令和3年3月19日（金）午後3時30分～午後4時45分
会場	西区役所健康センター棟101・102会議室
出席者 （敬称略）	西区自治協議会 岩脇 正之、杉原 英文、風間 一夫、小泉 利男 コミュニティ佐潟バス運営委員会 会長 石黒 伸夫 内野上新町バス運営委員会 会長 古俣 正樹 国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 運輸企画専門官 塩原 隆太郎 新潟西警察署交通課 課長 金子 康博 新潟市ハイヤータクシー協会 事務局長 新田 文雄 西区役所地域課 課長 松尾 大介 西区役所建設課 課長 渡辺 大介
欠席者 （敬称略）	西区自治協議会 高橋 由紀子 新潟交通株式会社乗合バス部企画調整課 稲家 雄太 新潟交通観光バス株式会社 営業部乗合バス課 課長 松田 英憲 都市政策部都市交通政策課 課長 坂井 秋樹
事務局	西区地域課 3名
主な議事	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（1）西区生活交通改善プランの進捗について</p> <p>（2）各団体等の課題について意見交換</p> <p>○事務局より、西区生活交通改善プランの概要及びプランにある具体的な交通施策の今年度の取り組み状況と目標達成に向けた今後の取り組みの説明があり、各実施主体で取り組めること等について意見交換を行いました。</p> <p>▷ 主な意見は、以下のとおり</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○コミュニティ佐潟バスは、区バス中野小屋ルートと一体的に内野駅前広場への乗り入れの検討を行う必要がある。（コミュニティ佐潟バス運営委員会）</p> <p>○内野上新町バスは、本数が少ないながらも荒天時の通学や通院の手段として利用されている。今後の道路整備を見据えて、ルートの見直しの検討ができればと考えている。（内野上新バス運営委員会）</p> <p>○市民ニーズとして、デマンド交通を求める声はあると思う。西区は住む人がある程度まとまっているので効率的に乗り合いが成立すると思われる。具体的な声があがったら導入の検討をいただきたい。（新潟市ハイヤータクシー協会）</p> <p>○デマンド交通には一長一短があるため、導入にあたっては地域性を十分に考慮することが必要である。（西区自治協議会）</p> <p>○住民バス等の路線見直しには、新潟交通のバス路線との調整が必要となるので簡単に進むものではない。（西区自治協議会）</p> </div>

<p>主な議事</p>	<p>○住民バスの社会実験を行っても利用者が少なく本運行に移行できないことがある。人口減少が進む中、公費をどこまで投入すべきかよく考えるべきである。バスで賄えない部分は、タクシーに補っていただくことも必要と思われる。(西区自治協議会)</p> <p>○デマンド交通は、地域、立地、タクシー会社の規模などのバランスがうまく取れると成功事例となることがある。(新潟運輸支局)</p> <p>○バス停までも行くことができない交通弱者のことを考えると、福祉分野と連携して取り組んでいくことが必要と考える。(西区自治協議会)</p> <p>○内野西が丘駅から内野平和台までの移動が困難なため、駅前広場にタクシーを配置するなど、配慮いただけるとありがたい。(内野上新バス運営委員会)</p> <p>○小学校の下校や通塾は、まとまった需要があると思われるので、デマンド交通のような形態が成立するのではないか。(西自治協議会)</p> <p>○地域の移動を維持確保するための課題はたくさんあるので、本会議を年1回以上開催することも考えてはいかがか。(西区自治協議会)</p> <p>○次年度以降も本会議を開催し、西区生活交通改善プランの進捗状況の確認と各実施主体等の取り組みを共有することとしました。</p> <p>3 閉会</p>
<p>傍聴者</p>	<p>なし</p>